

町制施行80周年記念事業

The History of Oma Town

大間町史

～平成のおおま～



The History of Oma Town

大間町史

～平成のおおま～

発刊のことば

大間町長 野崎尚文



大間町史は、平成4年、町制施行50周年を機に町史編さんに着手し、平成9年に第1刊が発刊されました。このたび、町制施行80周年を機に記念事業の一環として、第2刊目となる『大間町史～平成のおおま～』が発刊される運びとなったことは誠に喜びにたえません。

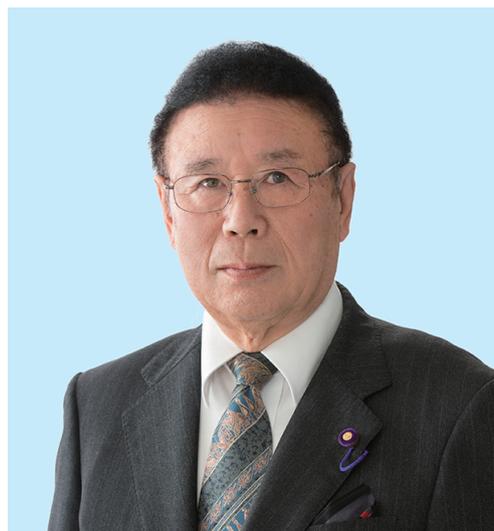
本町史の編さんは、年号が平成から令和に変わった節目となることから、主に平成期の出来事を取り上げた内容となっており、「わかりやすく、読みやすい」を心がけ、新たに発見された史料も追加しておりますので、より多くの皆様にご覧いただければと思います。

大間町の歴史を後世に伝えることは今を生きる私たちの大きな役目であり、未来への責任であると考えます。先人の偉業を偲び、これを心の糧として将来の町づくりの指針となる貴重な文献でありますので、各方面でのご活用と『大間町史』を通じて、町の歴史に接していただき愛着や誇りを深めていただきたいと思います。

終わりに本町史発刊にあたり、編さん委員の皆様はじめ、更に多くの史・資料等を提供くださるなど編さん事業にご協力を賜った方々、また、この事業を受託していただいた株式会社ぎょうせいの皆様に衷心より感謝を申し上げ発刊のことばといたします。

町史発刊を祝して

大間町議会議長 石戸 秀雄



このたび、町制施行80周年記念事業の一環として『大間町史～平成のおおま～』が刊行されますことを、心よりお慶び申し上げます。

昭和17年に旧大奥村から大間町として町制施行以来、本州最北端の大間崎をはじめとした豊かな自然の中、その歴史においては数多くの教訓や幾多の時代の変遷を重ねつつ、町勢の発展を遂げてまいりました。

この地で古くから、先人たちが受け継ぎ育まれてきた伝統行事などの郷土芸能や特有の文化をはじめ、行政運営や各種の統計数値など様々な分野の情報が明記される本書が、この度の記念すべき80周年の節目において編さん事業に取り組みられましたことは、誠に意義深いことであり、これからの当町の町づくりの指針になるものと確信しております。

本町史は行政推進の資料として役立つばかりでなく、未来の歴史の創造者である私たちの「生きた参考書」となることを願うものであります。

最後に、発刊における調査をはじめ、編集業務に当たられました関係各位のご尽力とご苦勞に深く敬意を表し、お祝いの言葉といたします。

発刊に際して

大間町教育委員会教育長 山 本 隆



大間町史編さん事業は、令和元年6月に着手、同年12月には編さん委員会を設置し、平成期の歩みを中心に進め、編さん委員各位、協力者の皆様の精力的なご努力により、この度、『大間町史～平成のおおま～』が刊行されました。

本町は、本州最北端に位置し、三方を海に囲まれた漁業の盛んな素晴らしい土地で先人たちはここで生涯を過ごし、私たちも先人から様々なことを受け継いで子や孫へ伝えながら生涯を過ごしていくこととなります。

この町史発刊は、その土地の歴史やこの地域に暮らした人々が、過去においてどう生きてきたか、そして未来に向かってどう生きてゆくかを考える礎となるものであり、今も私どもが無意識に実践している生活慣習や言葉をみましても、先人たちを感じ悟ってきた行動の一つだと思えます。

本町史は、令和5年1月から町ホームページで配信いたしますので、より多くの方々に観ていただきたいと思えます。

最後に町制施行80周年の節目にこうして町民の皆様に後世を伝える役目に関われたことに感謝を申し上げ、発刊に際してのご挨拶といたします。

大間地区



上空からの大間港

マグロモニュメント
ライトアップ



大間崎からの夕景



内山公園の紅葉



雪の大間稲荷神社



大間川の桜



海から弁天島を臨む

奥戸地区



上空からの奥戸漁港



奥戸漁港



上空からの小奥戸漁港

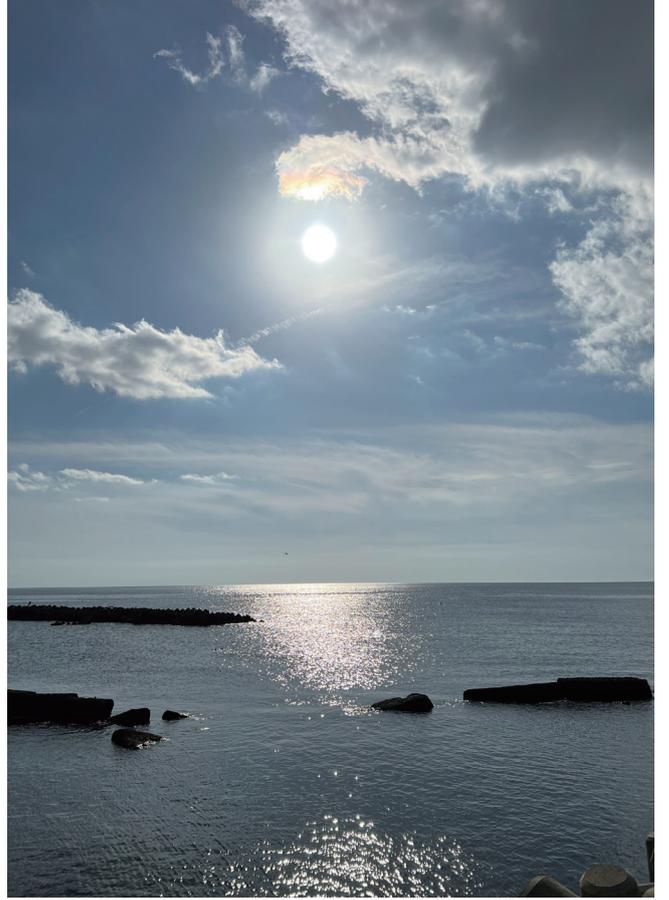


小奥戸漁港





奥戸春日神社



奥戸漁港からの水平線

黒岩のパノラマ写真



材木地区



上空からの材木漁港



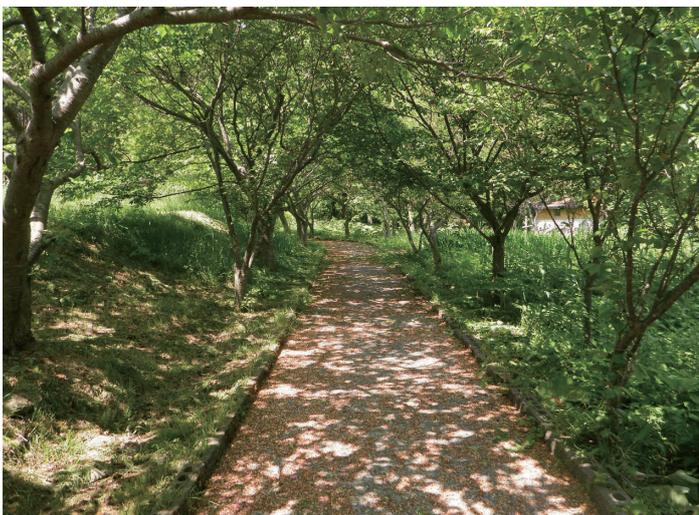
海から材木漁港を臨む



赤石海岸からの夕日



大時化の材木防波堤



津鼻崎公園までの遊歩道



材木稻荷神社



凡例—本書をご覧になる方へ

- 1 本書『大間町史～平成のおおま～』は、既刊の『大間町史』(平成9年刊行)に続くものとして、主に平成期の出来事を内容とし、「わかりやすく、読みやすい」をコンセプトとして、全12章で構成しています。
- 2 本書の記述内容は、おおむね令和3年3月末日までとしていますが、必要に応じてそれ以降に言及した部分もあります。
- 3 本書は、子どもから大人まで理解しやすく読んでいただけるように、写真や図版等を多く掲載しました。また、できるだけ平易な文章表現に心がけ、原則として「常用漢字」「現代仮名遣い」に拠り、難しいと思われる漢字にはルビ（ふりがな）を付しました。
- 4 年代・年号については元号を用い、原則として（ ）で西暦を付記、年号が続く場合は翌年、同じ年は同年と付記しました。
- 5 固有の名称や会社名、団体名などは、初出は正式名称として、2回目以降は(株)などのように略記しました。
- 6 図と表は区別しないで、図表1-5（第1章の5番目の図表）のように章ごとに通し番号としました。
- 7 既刊『大間町史』の正誤表と本書作成に使用した参考文献は、巻末に掲載しましたので、ご参照ください。
- 8 第10章第3節「武内家所蔵資料」は、令和2年8月に町に寄贈された「伝法屋」の貴重な資料の中から江戸時代の6点を解説しました。

大間町史*もくじ

発刊のことば	大間町長	野崎	尚文
町史発刊を祝して	大間町議会議長	石戸	秀雄
発刊に際して	大間町教育委員会教育長	山本	隆
口 絵			
凡 例			

第 1 章 自 然

第 1 節 位置と地形	2
1 位置と面積	2
本州の最北端に位置する町	
2 地形と海岸線	3
低い山々と小さな河川／延々続く海岸段丘	
3 地質と火山岩	5
多彩な火成岩から成る地質	
第 2 節 気象と海	7
1 気 温	7
下北半島の陸と海／冬暖かく夏涼しく	
2 風向きと風速	8
西風と東風と南西風が多い／冬に強く吹く偏西風	
3 雨と雪	10
梅雨より多い9月の降水量／降雪も積雪も少ない	
4 海流と潮流	11
2つの流れの強い潮流／海流と潮流の漁業への影響／海底地形と海水温度	
第 3 節 動 物	14
1 哺乳類	14

奥戸川上流での調査／大間町に生息する哺乳動物／北限のサル

2 鳥 類 16
 分布北限の陸鳥／大間崎を通過する渡り鳥／津軽海峡の海鳥

3 魚介類 20

第4節 植 物 23

1 下北の植物相 23
 ブナとヒバが基本の林／森林とともに変わる植物／山地植生と林相の構成

2 珍しい植物 24
 2種類ある珍しい植物／屏風立岩は植物の宝庫

3 海 藻 25
 海の植物と北限の海藻

第 2 章 行財政

第1節 行政機構 28

1 沿 革 28
 盛岡藩から斗南藩へ／廃藩置県と青森県の誕生

2 大間町の誕生 29
 大奥村の誕生／町制施行への機運／大間町の誕生／町制施行の祝賀／
 戦時下の町政／戦後の町政

3 町章・町民憲章・町の木・町の花・町の鳥の制定 32
 町章の制定／町制施行40周年記念の一環として

4 大字・地名の由来 34
 歴史上に見る大間と奥戸の地名／大間と奥戸の地名の由来考／字 名

5 町制施行記念 35
 町制施行50周年／町制施行60周年／町制施行70周年／町制施行80周年

6 大間町総合計画 38
 第1次大間町総合計画／第2次大間町総合計画／第3次大間町総合計画／
 第4次大間町総合計画／第5次大間町総合計画／第6次大間町総合計画

7 大間原子力発電所計画 42
 原発誘致の推移／大間原子力発電所の着工／東日本大震災で工事休止と再開／
 新規制基準対応の長い道のり

8	歴代町（村）長・助役・収入役	44
	歴代町（村）長／歴代助役・収入役	
9	財 政	50
	厳しさを増す自治体財政／財政とは／予算とは／債務負担行為とは／ 基金とは／補正予算とは／専決処分とは／平成の財政	
10	役場の移転	58
	役場の変遷／老朽化する庁舎／新庁舎の建設へ／新庁舎の完成	
11	平成の大合併	60
	合併特例法の改正／8市町村か3町村か／8市町村合併の枠組みから離脱／ 再び3町村合併の協議／町単独を選択	
12	災害対策本部設置	62
	東日本大震災災害対策本部の設置と廃止／ 新型コロナウイルス感染症対策本部の設置と廃止／ 再度の対策本部設置	
第2節 地方税		66
1	納税者と税収入の推移	66
	納税者と税収入の推移／軽自動車税／固定資産税／納期前納付の報償金制度 納税貯蓄組合	
第3節 人口と戸数		69
1	人口の推移	69
	昭和期の人口／平成・令和期の人口	
2	平成の地区別人口・地区別世帯数	71
	地区別世帯数の推移／地区別人口／産業別就業者数の増減	
第4節 議 会		73
1	町議会	73
	昭和期の町議会／平成期の町議会	
2	議会組織	78
	平成・令和期の議会組織	
3	歴代議長・副議長・議員	79
	歴代議長／歴代副議長	
4	常任委員会の変遷	82
	常任委員会の設置／常任委員会の変遷／平成期の常任委員会	

第5節 選挙	84
1 選挙	84
選挙人名簿登録者数／町長選挙・町議会選挙結果／選挙管理委員会／大間町明るい選挙推進協議会	
2 県議会議員	87
最初の県議会議員／昭和・平成初の県議会議員誕生	
第6節 大間町と戦争	89
1 大間町と戦争	89
徴兵令／兵役法／日露戦争と大間町／戦時体制／疎開と空襲	
2 豊国丸	91
豊国丸の沈没と慰霊	
3 遺族と遺品の返還など	92
中国からの一時帰国者／シベリア抑留者の遺骨が里帰り／不発弾／軍隊手帳	

第 3 章 防災・防犯

第1節 消防	96
1 消防団	96
消防団の歩み／消防器具の変遷／独自の組織	
2 広域消防体制と大間消防署	99
時代の要請／大間消防分署／大間消防署	
3 大火・災害の記録	101
第2節 海難	103
1 大間埼灯台	103
大間埼灯台／海難事故	
第3節 警察	106
1 大間警察署の移転	106
大間警察分署／大間警察署への昇格／自治体警察の発足／現在の新庁舎に移転	

2	交通事故・交通事故対策	108
	交通事故対策／交通事故／信号機設置	
第4節 交通対策		110
1	大間町交通整理員	110
	交通整理員とは	
2	大間町交通安全対策協議会	110
	交通安全対策協議会とは／主な活動	
3	大間町交通安全母の会連合会	111
	活動内容／事業実績	
第	4	章 産業経済
<hr/>		
第1節 農業		114
1	農家戸数・農家人口と耕地面積等の推移	114
	農家戸数と農家人口の推移／耕地面積・作付面積の推移	
第2節 畜産業		117
1	大間牛のブランド化	117
	畜産業の成長／大間町畜産農業協同組合／大間牧場／大間牛	
第3節 林業		120
1	林業	120
	下北森林管理署大間森林事務所／歴代営林署長等／森林資源情報	
第4節 水産業		122
1	漁業経営体数・就業者数・漁船数の推移	122
	漁業経営体／漁業就業者数／漁船数	
2	漁場の整備・施設の整備	124
	採る漁業からつくり育てる漁業へ／漁場の整備等／施設の整備	
3	漁業協同組合	127
	漁業協同組合の役割と現況／戦前の漁業組合／戦後の漁業協同組合	

平成期の動向	
4 「大間まぐろ」	132
マグロの一本釣り／「大間まぐろ」のブランド化	
第5節 商工業	135
1 大間町商工会	135
創立／商工会の活動／新会館の建設	
2 小売業の現状	137
小売業の推移／購買力の流出	
3 工業	139
工業の現況／水産加工／木材工業	
4 産業構造の変化	141
産業構造の変化／第6次産業化	
第6節 観光と特産品	142
1 観光スポットと特産品	142
観光スポット／特産品	
2 観光の推移	145
観光の現状と問題点／観光客の動向	
3 観光PR	147
PRの強化／広域観光ルートの整備	
4 大間町観光協会	149
情報配信とイベント開催	
5 観光大使とキャラクター	151
観光大使／イメージキャラクター	
第7節 産業施設	153
1 畜産・農業・漁業関連施設	153
大間町畜産物加工センター／大間町畜産資料展示施設／	
大間町特産品加工保管施設／大間町漁業活性化センター／	
北通り種苗育成センター／北通り製氷施設／大間町農村婦人の家／	
大間町町営牧野	
2 観光施設	155
大間町海峡保養センター／大間温泉養老センター／	

シーサイドキャトルパーク・西吹付山展望台／大間崎レストハウス／
内山公園／津鼻崎公園

第8節 鳥獣対策	157
1 ニホンザルによる農作物の被害	157
サルの生息状況／被害状況／第3次第二種特定鳥獣管理計画／ 電気柵の設置	

◆ 第5章 交通・運輸

第1節 陸の交通	162
かつての交通事情と下北交通／国道279号／国道338号	
第2節 海の交通	165
1 大間・函館航路	165
航路開発の歴史／フェリーボートの就航／航路継続をめぐる動き／ 「大函丸」の就航	
第3節 灯台	170
1 弁天島と大間埼灯台	170
弁天島／大間埼灯台／無人化に移行	
第4節 通信	172
1 大間町の郵便	172
通常郵便の集配開始／郵政民営化	
2 大間町の電話	174
電話の歩み	
3 地上デジタル放送	175
大間町のテレビの歩み／アナログからデジタルへ／大間テレビ中継局／ 大間材木デジタルテレビSHV局	
4 ラジオ	176
大間町のラジオ放送の歩み／ラジオ聴取がより明瞭に	
5 総合行政ネットワーク	177

第 6 章 環境の整備

第 1 節 公営住宅	180
1 公営住宅の歩み	180
26年間で109戸／平成期に建替着手／令和になり建替再開	
2 住宅計画	181
公営住宅の計画／事業計画	
第 2 節 家屋・土地の利用	183
1 空き家対策	183
2 土地の利用	183
第 3 節 水道事業	186
1 水道事業の歩み	186
2 水使用量の状況	187
3 今後の計画について	188
第 4 節 衛生事業	191
1 ごみ処理体系の現況	191
ごみ行政の歩み／ごみ袋の有料化／ごみ処理体系の現況／最終処分場	
第 5 節 下水道事業	196
1 下水道とし尿処理	196
下水道行政の歩み／浄化槽行政の新たな展開	
第 6 節 墓地と葬斎場	198
1 墓地と葬斎場	198
墓地の適正管理と公園化／火葬場と葬斎場の完成	
第 7 節 コミュニティ	200

1	まち・ひと・しごとと将来構想	200
	まち・ひと・しごと創生とは／大間町でも策定／人口ビジョン／総合戦略	
2	広報紙	203
	『町報大間』の発刊／広報おおま	
3	町内会組織	204
4	台湾虎尾鎮との友好姉妹都市締結	205
	友好姉妹都市締結／虎尾鎮との交流	
5	戸井町との姉妹町締結	207
	姉妹町の締結／続く盛んな交流	
6	住民懇談会	208
	移動役場—行政相談／町内会懇談会	
7	交流施設	209
	大間町奥戸交流館／大間町奥戸ゆうゆう館／北通り総合文化センター「ウイング」	
第8節 マイナンバー制度		211
1	マイナンバー制度	211
	住基ネット／マイナンバー制度の発足／コロナ禍を機に	
第9節 自然エネルギー		213
1	風力発電	213
	有望な風力発電／ガイドラインと条例／次々と誕生する風力発電	
第10節 下北ジオパーク		215
	ジオパークとは／下北ジオパークとは／これまでの歩み／運営体制／ 基本理念と活動内容／ビジターセンター	

第7章 教育の振興

第1節 学校教育		220
1	平成の学校教育	220
	学習指導要領の流れ／学校教育の課題と現状／教育大綱 学校教育の方針と重点／学校再編	

2	大間幼稚園	224
	大間幼稚園の歩み／園自慢／保育料の無償化	
3	大間小学校	226
	大間小学校の歩み／学校自慢	
4	奥戸小学校	229
	奥戸小学校の歩み／学校自慢	
5	大間中学校	232
	大間中学校の歩み／学校自慢	
6	奥戸中学校	234
	奥戸中学校の歩み／学校自慢	
7	大間高等学校	237
	大間高等学校の歩み／学校自慢	
8	特別・就学支援対策	240
	特殊教育の時代／特別支援教育の展開／就学指導委員会から教育支援委員会へ	
9	ICT・GIGAスクール構想	242
	早期からICT化に着手／GIGAスクール構想	
10	学校教育団体の活動	243
	学力向上研究会の活動／大間町教育推進協議会（校長会）／大間町教頭会 大間町教務主任会／大間町学校事務会／大間町学校保健会／ 大間町教育支援委員会（旧大間町就学指導委員会）／大間町教育三者協議会（懇話会）／ 大間町教育ネットワーク会議／大間町総合教育会議	
11	教職員の働き方改革	245
	教職員の勤務時間／働き方の見直しと取り組み	
12	大間町教職員住宅	246
	減少傾向にある入居者	

第2節 児童・生徒の実態 248

1	学力調査	248
	総合学力調査の活用／学習習慣のアンケート	
2	学校保健統計と各校の取り組み	249
	児童・生徒の体格／歯科検診の結果から／視力検査の結果から／ 各校の取り組み	
3	進学状況	252
	高校進学状況／就職希望率の低下と推移／大間高校の進学・就職状況	

第3節 社会教育	255
1 社会教育の現状	255
生涯学習の目標の下に／幼少年から高齢者まで	
2 主な社会教育	257
社会教育の課題／社会教育の方針と重点／少年教育・子ども会育成事業／	
放課後子ども教室／大間町成人式／公民館講座／町民文化祭／大間町音楽祭／	
新春書初め席書大会／函館市戸井地区交流事業／社会教育・文化活動の年間計画	
3 大間町文化の方針と重点	262
文化活動の方針／文化活動の重点／重点事業	
4 社会教育施設	263
大間町立公民館／大間町奥戸交流館／大間町奥戸ゆうゆう館／	
大間町勤労青少年ホーム／大間町農村婦人の家／大間町総合開発センター	
5 社会教育団体	264
大間町社会教育委員会／大間町文化財審議委員会／大間町公民館運営審議委員会／	
大間町勤労青少年ホーム運営委員会／大間町青少年健全育成会議／	
大間町女性団体連絡協議会／大間町老人クラブ連合会／奥戸川蟬会	
6 芸術・文化団体	266
祭典実行委員会／大間町文化協会／大間郷土芸能保存会／奥戸郷土芸能保存会／	
下北地区子ども会郷土芸能発表会	
第4節 社会体育	268
1 スポーツ活動	268
町民の健康・体力づくりを目指して／町民体育大会／大間町健康まつり／	
はまなす駅伝大会／大間町少年柔道大会／大間町少年剣道大会／	
その他のスポーツ大会	
2 スポーツとアスリート	271
柔道・剣道が強いのはなぜ？／躍進中の野球／大相撲の力士誕生／	
格闘技／陸上競技／ボート	
3 社会体育施設	282
大間町民体育館／大間町勤労青少年ホーム／学校開放事業	
4 社会体育団体	283
体育館運営審議会委員／大間町スポーツ推進委員協議会／	
青森県民駅伝競走大会大間町実行委員会／大間町スポーツ協会／	
大間町スポーツ少年団	

第5節 教育行財政	287
1 教育費	287
大間町の教育予算	
2 教育委員会	289
旧教育委員会制度／新教育委員会制度	
第6節 外国語指導助手（ALT）	291
外国語指導助手	

第 8 章 福 祉

第1節 大間町地域福祉計画	294
1 第1期大間町地域福祉計画の策定	294
2 第2期大間町地域福祉計画の策定	294
5つの施策目標	
第2節 児童福祉	297
1 子ども・子育て支援事業計画	297
子どもをめぐる社会環境の変化／第1期子ども・子育て支援事業計画／ 第2期子ども・子育て支援事業計画	
2 保育園	298
奥戸・下手浜保育所／うみの子保育園／大間保育園	
3 きめ細やかな支援事業	300
地域における子育ての支援／母性並びに乳幼児等の健康の確保及び増進／ 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備／ 子育てを支援する生活環境の整備／職業生活と家庭生活の両立の推進／ 子ども等の安全確保／要保護児童への対応などきめ細やかな取り組みの推進	
第3節 心身障害者福祉	304
1 大間町障害者福祉計画	304
障害保健福祉改革に向けて／理念と課題、目標／計画の継続	

2	障害者支援事業	305
	自立支援給付によるサービス／地域生活支援事業	
第4節	母子（父子）・寡婦対策	307
1	ひとり親対策	307
	第4次大間町総合計画では／自立支援の推進	
第5節	低所得者対策	308
	低所得者の推移と実態	
第6節	高齢者対策・介護保険事業	310
1	高齢者人口	310
	30年間で倍以上となった高齢化率／増え続ける高齢世帯	
2	介護保険制度がスタート	311
	介護保険制度とは	
3	介護保険事業計画と高齢者福祉計画	311
	介護保険事業計画／老人保健福祉計画／大間町では？／現在は8期	
4	介護保険事業の推移	312
	要支援・要介護者の増減を見る／介護給付費の推移	
5	地域支援事業・予防事業	314
	地域支援事業とは／大間町の介護予防・日常生活支援総合事業	
6	地域包括支援センター	315
	地域包括支援センターとは	
7	介護施設	316
	特別養護老人ホーム　くろまつ／グループホーム　内山苑／ 特別養護老人ホーム　しおさい岬／グループホーム　おおま荘	
8	老人クラブ	319
	老人クラブの結成／主な活動	
第7節	後期高齢者医療事業	321
1	老人保健制度から後期高齢者医療制度へ	321
	後期高齢者医療制度とは／加入者数の推移／給付費の推移／保険料の状況	
第8節	国民健康保険事業	323

1 国民健康保険の推移と実態	323
国民健康保険制度の歩み／大間町における加入者の推移	
第9節 医療施設	325
1 大間病院	325
建設と歩み／リハビリテーション科の増設／下北医療センター／設備と充実	
第10節 保健・衛生事業	327
1 健康診断・がん検診の実施状況	327
健康診断の状況／がん検診の状況	
2 医療費助成	328
子どもへの医療費助成	
3 インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策	329
インフルエンザ助成事業／新型コロナウイルス感染症対策	
第11節 大間町社会福祉協議会	331
大間町社会福祉協議会の歩み	
第12節 健康福祉団体	333
大間町食生活改善推進協議会／大間町保健協力会	
第13節 複合施設建設	336
(仮称) 大間町複合施設	
第14節 健康づくり宣言	337
大間町の健康課題／健康づくり宣言／進む取り組み／1周年記念イベント	

第9章 大間町の宗教

第1節 大間の信仰	342
1 信仰の原型と天妃様	342
信仰の原型／天妃様とは／天妃様と大間／天妃様と水戸／天妃様行列／	

天妃信仰が教科書に	
2 修験と神社	345
組織持たない修験が主役	
3 仏教信仰とオシラ様	345
寺院形成が遅れた大間／継続するオシラ様信仰／奥戸の庚申塔	
第2節 大間町の神社	348
1 大間稻荷神社	348
にぎやかな天妃様行列	
2 奥戸春日神社	349
観音堂の焼失を経て／天然石の浄水盤	
3 弁天神社	350
300年以上の歴史	
4 奥戸稻荷神社	351
5 材木稻荷神社	352
6 春日弁天神社	353
第3節 大間の寺院	354
1 無量山阿弥陀寺（浄土宗）	354
300年前建立の阿弥陀如来像が本尊	
2 大澗山福蔵寺（曹洞宗）	355
宝暦4年の開山	
3 大海山法香寺（浄土真宗・大谷派）	356
松寿山法性寺（佐井村）の分寺	
4 松尾山円融寺（日蓮宗）	357
昭和期の開創	
5 林清山信願寺（浄土宗）	358
積み出し港として繁栄した歴史を背景として	
6 梅香山崇徳寺（浄土宗）	359
大泉寺（盛岡市）の末寺	
7 海雲山長弘寺（曹洞宗）	360
下北33番巡礼所の22番	
8 松寿山法性寺奥戸分院（浄土真宗・大谷派）	361
法性寺の分院として	

第4節 大間の神殿・祠	362
1 普賢院	362
津軽海峡沿岸で厚い信仰／宿坊が誕生	
2 八大龍王殿	363
150周年を記念し新たに龍王殿を建設	
3 海上安全地藏堂	364
海上安全地藏尊の由来	
4 子宝観音	365
開湯に関わる由緒	
5 春日優婆尊堂	366
6 鹿島明神社	367
7 地藏堂	368
8 その他	369

第10章 大間町の文化財

第1節 文化財と民俗	372
1 史跡・文化財	372
町の文化財調査活動／文化財保護指導員／遺跡発掘調査	
2 鰐口	374
鰐口とは／大間弁天神社の鰐口が戻る／福岡県の鰐口が春日弁天神社に	
3 郷土芸能	375
大間稲荷神社大神楽／大間稲荷丸囃子／大間仁和賀山囃子／大間大正山囃子／大間弁天丸囃子／奥戸春日神社大神楽／奥戸布袋山祇園囃子／奥戸春日山囃子／奥戸弁天山囃子／奥戸世の中踊り／奥戸餅つき踊り／津軽海峡海鳴り太鼓	
4 青森県無形民俗文化財	378
進む調査／大間の山車行事／奥戸の山車行事	
第2節 大間町の民俗	381
年中行事	

第3節 武内家所蔵資料	384
-------------------	-----

第11章 功勞者・功勞団体

第1節 叙 勲	392
---------------	-----

第2節 功 勞	395
---------------	-----

1 功勞賞	395
2 大臣表彰・感謝状	396
3 100歳（内閣総理大臣）	397

第12章 年 表

第1節 平成上期	400
----------------	-----

第2節 平成中期	419
----------------	-----

第3節 平成下期～令和へ	439
--------------------	-----

『大間町史（平成9年刊）』正誤表	465
参考文献	467
大間町史編さん委員会委員	470
町史協力者名簿	471
あとがき 前大間町教育委員会教育長 佐藤 桂一	473